

## 第18回 「燃費性能」と「健康性能」から考える「これからの住まいづくり」

# 断熱性能の優れた家は 体感温度もアップする

今年4月から、新築戸建て住宅も「長野県建築物環境エネルギー性能検討制度」の義務対象になった。この機会に、住まいの「燃費性能」と「健康性能」との関わりなどについて、シリーズで説明してきたが、連載も終盤に差し掛かってきた。

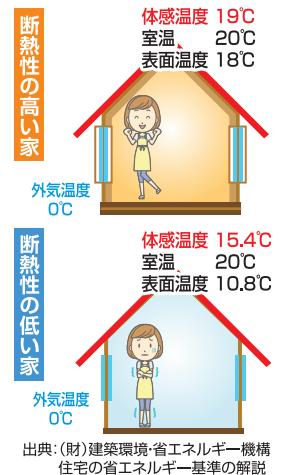
さて、冬に部屋を暖房して、室温は十分な温度なのにまだ寒い、逆に夏に冷房して室温は十分下がっているのになぜかまだ暑い、そんな経験をしたことはないだろうか？

体感の温度は、室温だけでなく、気流と湿度も大きく影響することは比較的知られているが、実はそれ以上に、壁や天井面や床の表面温度の影響が大きいのだ。近畿大学建築学部長の岩前篤教授によると、人間の体は、空気温度だけでなく、床・壁・天井面からの輻射熱を感じ取るのだという。そして、体感温度は、概ね室温と表面温度の平均値で示されるのだそうだ。例えば、冬に室内の温度計が20°Cを示していても、断熱性が高く、家、壁の表面温度

が18°Cであれば体感温度は19°Cだが、断熱性が低く壁の表面温度が10.8°Cの家は体感温度がなんと15.4°Cになるのだ。つまり同じ室温でも体感温度は壁面や天井面の表面温度次第で大きな差が出てしまうのだ。

これは、放射による熱の移動によるものだそうだ。直接触らなくても、窓は壁面の表面温度が低く、体からの放射によって熱が奪われ、ひんやり涼しく感じる。逆に表面温度が高い壁面からは、放射熱が体に伝えられ熱く感じる。断熱性能が低い家の場合は、冷暖房をしてでもどうしても壁面温度が外温に近づいてしまう。そのため、室温よろしくも夏は暑く、冬は寒く感じてしまう。つまり、冬であれば、必要以上に室温を上げないと寒く感じるのだ。逆に言えば、低い家よりも低い室温設定でも十分に暖かいといふことだ。

さらに、エアコンのこ



毎週水曜日掲載／次回掲載は8月5日(水)予定

(03・6205・4492)



## ホームズ君 省エネ診断 Ver.3

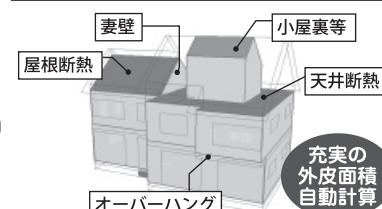
平成25年省エネ基準・省エネ住宅ポイントに対応

- CAD情報から外皮面積を自動計算、3D表示
- 軒、庇、バルコニー、オーバーハングなどの日除けを自動で考慮
- 外皮平均熱貫流率(UA値)、平均日射熱取得率( $\eta A$ 値)を自動算出
- 建築研究所「住宅・住戸の省エネルギー性能の判定プログラム」連携
- ホームズ君独自の計算エンジンで一次エネルギー消費量を計算し、外皮性能と設備性能をシームレスに検討

ホームズ君製品に関するお問い合わせは

0120-9876-68 (受付時間 平日9:00~18:00)

### 面倒な外皮面積計算も自動で！

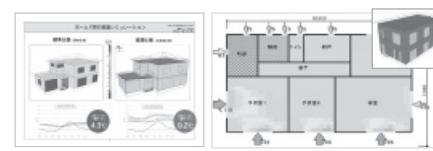


### NEW エネパス オプション

- ・(一社)日本エネルギー・バス協会の基準に則り「家の燃費」を表示！
- ・日本ERI(株)が実施する「エネルギー・バス第三者認証制度」に対応！

### すまいのEcoオプション NEW

- ・断熱性能や設備計画の効果を視覚的に表現
- ・室温や採光のシミュレーションでパッケージ要素を検討



### ホームズ君で完全マスター！ 平成25年省エネ基準セミナー

全国6会場にて開催！

東京  
8/4

金沢  
8/7

横浜  
8/19

名古屋  
8/25

大阪  
8/26

福岡  
9/2

詳細・申込は  
WEBをご覧ください



**INTEGRAL®**  
株式会社インテグラル  
株式会社インテグラルテクノロジー

[www.homeskun.com](http://www.homeskun.com)

ホームズ君

検索

茨城県つくば市東2-31-18

クリック！